四月三十日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地 發行所 株式會社 滿洲日報社

滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は三十日午前十時より開會 八田副總裁、十河、竹中、山西、大淵、山崎各理事、石本總務部長、中西地方部長等出席し三十日來連せる大淵東京支社長より中央に於ける會社要務報告及び同日歸連せる中西地方部長より教育行政移管問題に就いて拓務省との交涉成行に就き報告あり次いで粟野奉天地方事務所長の滿洲炭礦會社入りに伴ふ奉天地方事務所長後任及び地方部課所長の人事異動に就き協議あり、正午中憩した

聖壽無窮

新綠の大內山に 君民和樂の御宴

天長節祭行はせらる

【東京二十九日發國通】天皇陛下には春秋彌々御芽出度く大內山の新綠さわやかに照り映ゆる二十九日寶算滿三十三歲の佳節を迎へさせられたこの日宮中においては午前十時賢所皇靈殿神殿に天長節祭を行はせられ、掌典部員奉仕して早朝より裝飾し午前九時四十分宮內省勅任奏任各總代着床、三條掌典長、立花同次長以下奉仕し莊重な神樂歌の中に御開扉神饌幣物を供し、三條掌典長祝詞を奏し奉れば天皇陛下御代拜の侍從恭しく拜禮し次いで諸員の拜禮あり更に皇靈殿、神殿に於いても同樣の儀式が行はれた

午後零時半天皇陛下には御正裝に大勳位菊花章頸飾を御佩用神々しい御姿にて湯淺宮相、鈴木侍從長、本庄武官長以下側近を從へさせられ林式部長官の御前行にて出御、秩父宮殿下を始め皇族方に御對面、天長節の拜賀を受けさせられ次いで各國大公使齋藤首相以下各國務大臣その他顯官等に謁を賜ひ一同を從へさせられて豐明殿に御參進、諸員最敬禮中に中央の玉座に着かせられ玉音いとも嚴そかに優渥なる勅語を賜ひ、齋藤首相はこれに對し群臣を代表し又外交團首席白國大使バッソンピエール氏は外國使臣を代表して恭しく奉答文を奉讀し終つて御開宴、一同に酒饌を賜はり陛下にも幾度か玉盞をかたむけさせ給ひ皇室の御繁彌が上にも慶でたく一時過ぎ君民和樂の御宴を終へさせられ陛下には御機嫌麗しく入御あらせられた

尙この日皇后陛下には正午より秩父宮高松宮兩妃殿下を始め各宮妃殿下を宮中に招かせられ御內儀に御內宴を催されて限りなき御慶びを壽がせられた

天長節大觀兵式

代々木原頭の盛儀

【東京二十九日發國通】聖壽滿三十三年の御誕辰を壽ぎ奉る天長節觀兵式は本年は皇太子殿下御降誕に光輝一入映えて二十九日の佳き日青葉風薰る代々木原頭において盛大に擧行された、この日この聖代の盛儀を拜觀せんものと詰め寄せた人々は無慮三萬 式場には諸兵指揮官西義一中將の率ゐる近衛第一兩師團の精銳一萬四千名が整列代々木原頭寂として聲なく一方陪觀の各皇族方をはじめ齋藤首相以下の諸官及び各國大公使其他文武百官陛下の行幸を御待ち申上げるかゝる中に大元帥陛下には陸軍樣式大元帥の御正裝に御英姿颯爽と本庄侍從武官長御陪乘、湯淺宮相、鈴木侍從長、林陸軍大臣以下供奉第二公式鹵簿を整へさせられ午前八時十五分宮城御出門御順路を神宮表參道から代々木練兵場へ、同八時五十五分原頭に天皇旗燦と輝けば湧き上る莊嚴なる君が代の奏樂こだまする號令に嚴肅の氣は原頭を壓す

かくて諸員最敬禮の裡に陛下には龍顏いとも麗しく式場に着御便殿に入らせられ御先着の各皇族殿下に御對面、次で諸兵指揮官西中將、諸兵參謀長工藤少將、齋藤首相以下各國務大臣各國大公使等に拜謁仰せつけられた後同九時五分御愛馬白雪に召された

この時諸兵指揮官西中將の號令一下愈々莊嚴なる閱兵式は開始され陛下には侍從武官の先導で各皇族殿下、本庄侍從武官長、西諸兵指揮官、林陸相以下諸將星並に外國武官等を隨へさせられ肅々と馬を進めさせ給ひ、近步第一聯隊より順次各部隊の威容を親しくみそなはせ給ひ同九時二十三分よりは玉座の前に駒を立たせられ諸兵の分列行進を御親閱遊ばされ

一方同九時五十五分、にはかに起る爆音と共に所澤飛行學校長堀中將指揮の立川飛行第五聯隊、所澤、下志津兩飛行學校の戰鬪、偵察七十三機が整然たる編隊で飛來式場の空を壓して空中分列式を行ひかくて地に空に聖壽萬歲を壽ぎ奉つて十時十八分盛儀を終了、陛下には再び鹵簿を整へさせられ諸員奉送「君が代」奏樂裡に御機嫌いと麗しく同十一時十分還幸あらせられた

秩父宮殿下御渡滿か

滿洲國への特使宮として 政府、御差遣を奏請せん

【東京二十九日發國通】政府は滿洲國帝政實施につき同國に慶祝の意を表するため畏き邊りより特使として皇族殿下の御差遣を奏請することに決し齋藤首相は過般來鈴木侍從長、湯淺宮相等の內意を徵すると共に原田西園寺公秘書を通じ西園寺公の諒解を求めてゐたが諒解を得たので近く正式奏請の手續を執ることゝなつた、而して政府宮內省では秩父宮殿下御差遣を奏請したきことに意見一致を見てゐる模樣であるが、若し御差支ある場合は梨本宮殿下を奏請することゝなると觀らる、特使宮殿下御渡滿の時期は五月下旬か六月上旬の御豫定で、御都合に依つては或はこの秋に御延期あらせられるやに承はる

宇垣總督上京

【京城三十日發國通】宇垣總督は五月中旬久々で上京現地の統治狀況報告と共に、米穀對策を協議するがこれを機會に宇垣總督自身は自重するとも政界一部の策動があるべく注目される、なほ同じ頃中川臺灣總督も上京する

陸軍省恤兵部 近く廢止

【東京三十日發國通】陸軍では滿洲事變後出征軍人慰問金が多數なので陸軍省內に恤兵部を設けたが滿洲の狀態が平常に復歸し恤兵事務も減少したので近く右廢止と同時に恤兵事務は官房で取り扱ふことになつた

本社 一萬號卅周年記念

春酣の霞半島に 展開された大繪卷

廿九日の祝賀大會

紺碧の空に炸裂する煙花、地には今しも綻び初めようとする櫻と若草の綠織りなす諧調、之に配するに和洋音樂の豪華なメロデーと舞踊に千餘の來賓の心を浮き／＼と唆り立て、會場の萬國旗と本社旗またけふの盛儀をたゝふが如く潮風にはためく……四月二十九日天長節の佳き日を卜し風光絕佳の星ケ浦霞半島に繰り擴げられた本紙一萬號並創立三十周年記念祝賀會の光景は花に魁けた大繪卷である

祝賀式と演藝會

開かれた模擬店の賑ひ

この日夜來の氣遣はれた天候もカラリと晴れ渡り、北風やゝ强かつたが春を乘せて送り來る風のくすぐるやうな溫かさ、まさに天長の佳節を壽ぎ、記念すべき祝賀會日和といつた絕好の行樂天氣に心唆られて、本社が招待した千餘の旅大官民は定刻前既に會場たる星ケ浦霞半島へと陸續と詰めかける、會場は陸地に面して紅白の幔幕を張りめぐらし海に突出した島の左側に祝賀式場（餘興場）を設け、前方ぐるり三方に模擬店が建ち並び、大園遊會の設備萬端は整はれてゐる——會場入口には本社員接待員と十數名の美妓連が待ち構へて、續々と詰めかける來賓に桃色バラの胸章と祝賀會プロとを手渡す、來賓中には愛兒の手をひいた人、夫妻連れだつた幾組もありさながら大家族會の如き和かな光景を呈し、さしも廣い會場は千餘の來賓とこれを接待する美妓連とで埋められ、春陽照り映えて肌に汗ばみさへ覺えさすす麗かさだ——

正午を過ぐること三十分、三發の花火を合圖に記念祝賀の式典が開始された、會場正面には來賓を代表して日下關東廳內務局長、八田滿鐵副總裁、小川大連市長、高田商工會議所會頭、寶性大連新聞社長の諸氏居並び、先づ細野本社編輯局長開會の辭を述べ、次で大連會館〔?〕の奏づる樂につれて來賓一同起立莊嚴なる國歌「君が代」を合唱、續いて、村田本社長は來賓諸氏に對し紙齡一萬號並に創刊三十周年を迎へたる本紙の光輝ある歷史を述べ今後倘一層の御聲援を願ふ旨の挨拶をなし引續き日下內務局長、林滿鐵總裁（八田副總裁代讀）小川大連市長、高田商議會頭、寶性大連新聞社長の順序で祝詞を朗讀、更に本村本社營業局長より內閣總理大臣及び各大臣並に菱刈關東軍司令官ほか二百餘通の祝電披露あり、終つて御影池大連民政署長の發聲で「天皇陛下萬歲」を三唱、極めて莊嚴裡に祝賀式を閉ぢた

春空に打ち揚ぐる花火とバンドの奏樂に式場を離れた來賓は四圍に設けられた模擬店に思ひ思ひの足を運び、美妓の歡待に乾盃々々……ビール、酒、燒鳥、壽司、うどん、おでん等々が最も人氣を買ひ、どこの模擬店も黑山の人だかり、甘黨のサイダー、カルピス、しるこ、だんごもなか／＼よく賣れ「しるこ」「だんご」は忽ち品切れといふ盛況

この間大檢淡月席連中の清元「壽海波」これに續いて逢廓快樂連中の長唄「吾妻八景」の餘興あり、その妙技は觀衆を魅了し最後に大檢連中の「かつぽれ」に乙な藝を見せて滿場の興を添へた、微醺を帶びた頰に海から送つて來る涼しい風が撫でゝ得も云はれぬ春の感觸に時を過ぐるを知らず、會場到るところに歡聲と笑聲が湧き、早春の行樂を滿喫した、かくて歸りには來賓洩れなく折詰を贈り記念すべき意義ある祝賀會は四時三十分ごろ終つた

祝辭

滿鐵副總裁

滿洲日報社本日茲に天長の佳節を卜して創刊三十年一萬號記念祝賀式を擧げられ吾等亦參列するを得たるは洵に欣幸とする所なり、抑々言論機關の國家社會の發達に貢獻する所至大なるは贅言を要せず貴社は此の新興多望の大連に蹶起し高く論壇に旗幟を竪てられてより早くも既に三十年を經過し國難を賭して獲得したる露地經營の迹を終始審にするもの實に貴日報なりと謂ふ可く貴紙の業績は帝國の施設と共に基礎愈々鞏固なり

◇

今や滿蒙の地は滿洲事變を劃期として情勢全く一變し吾隣滿洲帝國の建設成り極東和平の基礎茲に展開し言論機關の責務も亦一層重大を加へんとす、此時に當りて貴社は此に朝野の名士を會して記念の祝賀盛典を擧ぐ洵に慶賀に堪へざるなり、冀くば將來益々發奮以て時勢世相を指導照映して一世の木鐸となり國家社會に貢獻せられんことを盛式に列し聊か無辭を陳れて祝辭となす

昭和九年四月二十九日
南滿洲鐵道株式會社
副總裁 八田嘉明

內務局長祝辭

滿洲日報社は本春紙齡一萬號に達し創立三十周年を迎へ社運益々隆昌に赴きつゝあるは慶賀に堪へざるなり、由來新聞事業の經營は難事中の難事と稱せられ世上新聞紙を發行するもの百千を以て數ふと雖も克く其の目的を達し斯界に雄視するものに至りては寥々として十指を屈するに足らず、滿洲日報が春秋三十年、今日の大を成したるは洵に偉とするに足り以て創業以來歷代の經營者に其の人を得、社員各位の異常なる努力、忍耐と其の功績とを想ふべきなり、滿洲日報は設備完備し夙に記事の精確豐富、報道の周到迅速を以て聞え、加ふるに言說に當り慎重苟もせず常に大所高所より國家社會の正義を標榜堅持し高論讜議、千里獨行の概あり、今や社會の信用多大にして幾萬の讀者を擁し滿洲の言論界に嶄然たる地步を占む、盛なりと謂ふべし

◇

顧みれば日露戰後滿洲日報が大連に呱々の聲を揚げてより世界の形勢は大なる變遷を經、殊に日滿間の關係は非常なる進展を示し、今日を以て當時を回想するときは殆んど隔世の感あり、而して滿洲日報は我生命線たる滿洲の關門に於て終始一貫我國策たる東洋平和の確保、民族福祉の增進の爲めに奮鬪努力を續け時勢の進展に貢獻する所甚大にして滿洲日報三十年の活歷史は即ち日滿兩國三十年の發達史と稱するも敢て過稱に非ざるなり、今や內外の情勢は益々重大にして帝國の負荷愈々加重せられんとす、滿洲建國大業の今後の隆替は世界の環視する所にして同國と特殊關係を有する帝國の一大試金石なりと謂ふべし、此の非常時局に當り善處するの途は輿論を統一し國力を傾倒するに在り、輿論指導の任を有する言論機關の責務大なりと謂はざるべからず、茲に滿洲日報社今回の祝典に當り衷心より其の成功を賀すると共に將來倍々其の大使命の遂行に邁進し以て日滿兩國の親善、滿洲國の發達の爲めに盡瘁せられんことを切望す、聊か蕪辭を陳べて祝詞とし謹て社運の隆昌長久を禱る

昭和九年四月二十九日
關東廳內務局長 日下辰太

商事會社の獨立 反對はない

大淵滿鐵理事來連談

滿鐵東京支社長大淵理事は滿鐵の要務も一段落ついたので三十日午前七時二十分入港の扶桑丸で來連したが滿鐵の資金手當その他について語る

本年六月までの會社の資金手當が思ふ通りに片付いたので昨年十月來久し振りに本社に來た、本年は簡易保險の一千五百萬圓を以て滿鐵社債に應募したが

簡保

の事業會社社債融資は今回が初めてで我國金融界において劃期的のことで社債の新機軸だ、今後も簡保の餘裕があれば融資されることゝなる、これは一面滿鐵の事業會社として基礎確固たること及び內地財界における強固なる信用を物語るものだ、このほか近く認可となるが既に三千萬圓の社債募集も決定し合計四千五百萬圓を以て本年六月までの社債募集は打切だが、九年度社債募集豫定額中四千五百萬圓は片付いたわけだ、昨年度は一億五千萬圓の社債募集を行つたがこのうち一億五百萬圓の借換をやつた、この結果六分社債は五千萬圓一つしか殘つてないが孰れ

時期

をみて善處する筈だ、何分社債募集の仕事は難しいことで民間預金一億圓なければ三千萬圓の社債募集は困難だ、來年度には一億五千萬圓乃至二億圓位の社債承認を得たいと思ふ

商事會社獨立問題に就いては傳へられるやうな內地經濟界に反對意見はない、要するにビジネスベイスを以て行はれるなら、實業家方面でも當然のことゝして異見はなからう、滿鐵改組問題に就いても中央關係各省で愼重にやつてゐるが、傳へられるやうなものとは大分趣きが違ふやうだ、傍系會社の切離し問題は方針は公示されたが早く具體的に運ぶやう決めなければならないと思ふ

確固

たる責任者を設けてやるべきだらう、地方行政移管問題に就いては滿洲で滿鐵と關東廳なり其の他との間に對立的意見が現はれることを中央では避けたがつてゐる

政府の方針で すべて善處

中西部長歸連語る

教育行政移管問題に就いて上京拓務省その他關係方面と折衝中であつた滿鐵中西地方部長は三十日入港の扶桑丸にて歸連したが、船中語る

先般滿鐵教育行政移管問題が閣議に提出されて諒解を得たやうに傳へられたがあれは誤傳で全然そんな事實はない、拓務省から滿鐵の教育行政移管問題が提議されたに就いては拓務省の意見として滿鐵は今後滿洲產業開發の中心として純經濟的事業會社として活躍すべき方針だから從つて產業以外の非營利的負擔は滿鐵から免ずるといふ見解の下に行政の如きは國家がやるものとして就中教育行政は國家の手に取り敢へず移すものとして關東廳移管說を提議したものである、自分にも拓務大臣から教育の移管に就いての話はあつたが一應調查しようといふことになつて別れた、附屬地外滿洲國內邦人小學校の滿鐵委託經營解除問題に就いては種々の事情で目下折衝中だが委託經營をやるにしてもやめるにしても滿鐵から話を持ちかけるわけでなく政府の意思によつて善處するのだ

島田臺銀頭取 辭表提出

【東京二十九日發國通】黑田次官は二十八日高橋藏相を訪問、島田臺銀頭取の進退問題を協議した結果、島田頭取は一兩日中に正式辭表提出の筈である

寫眞說明

（上から）會場入口から式場に向ふ會衆、祝賀式場、村田本社長の挨拶、左八田滿鐵副總裁の祝辭朗讀、右日下內務局長、快樂藝妓の餘興吾妻八景、乾杯する諸名士、繁昌する模擬店のだんご店

蛇角

◇昨、天長の佳節は折からの麗春、滿洲の邊土また皇澤普し、頌せざらめや。

◇〃力ある者は德を以て人を服し力なき者は德を養つて己を救ふ〃

これは渡日の王揖唐君が、密教の教理をひいて日支親善を說いた一句だが。

◇力あるものいまだ德足らず、力なきもの放恣いよく旺なりでは親善も前途遠からう。

◇秩父宮殿下、滿洲國への特使宮たらんとされる御模樣である。

◇具現すれば觀處のほど長くも畏ききはみである。

あめりか丸船客

【門司特電三十日發】二日大連入港豫定のあめりか丸の主なる船客 退役陸軍少將長谷部照俉、谷口英次郞、井上秀二、宮本八十造、原口純信

はるびん丸

一日午前七時三十分大連港外着の豫定

人事

▲青木信一氏（滿鐵ハルビン事務所派遣技師）三十日午前七時四十分着列車にて來連
▲齋藤固氏（北鮮鐵道管理局長）同上
▲小林員之輔氏（北鮮管理局工務課長）同上
▲村田愨麿氏（滿日社長）三十日午前九時發はとにて奉天へ
▲中村猛夫氏（同外交部長）同上
▲大藏準氏（哈日社長）二十九日夜ハルビンより來連
▲鹽業調查隊一行 三十日午前九時發はとにて普蘭店へ
▲栗山藤二氏（滿電業務課長）同上瓦房店へ

生活の虹 (113)

菊池寬 作
志村立美 畫

虹は崩れる（六）

典子はさわやかな色のレースの布で蔽はれた、フランス風の氣持のよい木造ベッドの上で、眼をぱつちりと明けて、にはかに、居なくなつた綾子の行動を心の中で探つてゐた。

それから、それへと、思ひ出し思ひ合せて行くと、兄も村山も、昨日は頓に、自分に對する態度がちがつてゐた。

綾子が村山の家に行つてゐるのだとすれば、村山が、自分があんなに綾子を嫌つてゐるのを承知で綾子を連れて行つたのなら、此の上ない自分に對するひどい裏切りである。

兄もそれに贊成してゐるとすれば、自分の存在は、まるで、ゴミのやうに、默殺されてゐるのである。

典子は、勝氣の上に、誰からもチヤホヤされて、はれ物にさはれるやうにして、成長くなつて來ただけに、兄達から、こんなにまで默殺されたと、考へただけで、胸が惡くなるほど口惜しさを感じた。

嘗て感じたことのない口惜しさ憤ほろしさに、涙さへ出ないほど一時は、ほかんと、白々しくすべてが考へられた。が、兄の部屋を出て、自分の寢部屋に獨りになると、いまいましさ割つて、口惜し涙がじんわりと滲み出した。

頭が、一時にムーッと熱くなると、ヒステリカルな興奮に、居ても立つてもゐられないやうな氣持になつた。

彼女は、村山の家に居るかも知れない綾子を、思ひ切り罵倒してやり度かつた。

それには自分が早まりすぎた。と、彼女は後悔するのだつた。

運轉手に聞いたことを、兄に云つてしまふのではなかつた。兄は村山の家に、電話か速達か何かの方法で、自分がすべてを知つたと云ふことを、知らせるにちがひない。

と、そこまで考へて來ると、典子は、ベッドをはね降りると、わがまゝに、やんちやに育つたお孃さまは、幼い時に、兄から叱られた時の仕かへしをする時のやうに足音をしのばせて、兄の寢部屋に上つて行つて、そつと、樣子を探り、どうやら邦男が、寢入つてゐるらしいのを知ると、そつと隣の書齋に入ると、卓上電話の送話器を攫むと、力まかせに、紐をもぎとつてしまつた。

もう一つ電話があつた。玄關の脇である。彼女は、少し自分の思ひ切つた行動に、愉快な微笑ひさへ浮べて、そこの電話もこはしてしまつた。

ベッド・ルームに歸ると、スプリングのいゝベッドの上に、水の中へでも飛びこむやうに、身を横たへると、何となく痛快だつた。

「明日は、早起きよ」

と、自分自身に云ひきかせて、枕元の小さい飾り棚に載つてゐる、ついぞかけたことのない、直ぐ枕スイス製の掌の中にも入つてしまひさうな小さい眼覺し時計のネヂをまくと、七時に鳴るやうに、針を廻して、ニヤ／＼笑ひながら、スタンドの鎖を曳いた。

球神取引所に背き　雌伏の滿電制霸

燦たる本社優勝旗を擁して　滿倶球場のドヨめき

6A—2

榮光に輝く昭和九年度の王座を決すべき本社主催の第十九回關東州野球大會の最終日たる二十九日……この榮ある決戰に相見ゆる二强剛一は鐵腕岩瀨投手の率ゐる新興の大連取引所倶樂部チーム、他は國際運輸に覇權を奪はれて昔節四年虎視眈々として制霸を望む南滿電氣軍……一時頃より早くもつめかけた觀衆は時のたつにつれ益々その數を加へ、二時半には內外野スタンドとも立錐の餘地なき超滿員、午後三時十四分濱崎(球審)永澤、安藤(壘審)三氏審判、取引所先攻で開始、先攻の取引所先づ一回表堂々と先取して滿電を壓するの感あるも、これに對する滿電は汐崎、小池、杉谷、片岡、梅本の巨砲を揃へて一氣に取引所の牙城に迫らんとするも岩瀨の老巧と玉井、野原の好守にはゞまれてならず、漸く四回小松の單打で一點を擧げ同點となる、いづれも劣らぬ珠玉チームの鎬をけづりあひ、展開される攻防の流轉相、球熱高潮して大鐵傘は拍手と喚聲の嵐、而して五回裏滿電の猛襲をして一擧五點を奪ひ大勢決するの感あるも爾後取引所しばしば滿電陣を脅かす、熱戰の進展は滿場の觀衆を極度に緊張させ七回表一點を返せしも成らず遂に六A對二で昭和九年度の覇權は滿電ナインの占むるところとなつた、右試合終了後岩瀨取引所、梅田滿電兩主將の手に依り國旗の降下式をなし引續き滿電軍は本壘前に整列、村田本社々長より本社優勝旗、山本、松岡前正副總裁杯、片山ボール賞杯、大朝、大毎兩優勝旗を授與し午後五時二十分幾多の輝かしい接戰、熱戰の記錄を殘して第十九回大會の幕を閉ぢた

◇　◇

數日前以來風邪の岩瀨投手は病をおしてプレートに起ち、滿電は小松を送る、一回表早くも取引所は小松の球を打つて出て先取の一點を擧げる、これに反し滿電軍は岩瀨の老巧にはばまれて凡退し四回同點の一點を得るまでに僅かに二安打ありしのみで、或は取引所に凱歌揚がるのではなからうかと思はれた、然しシーズン當初より猛練習を積む滿電軍の鋭鋒は五回裏に漸く現れ、西田の好バントをきつかけとして二死後五點を奪つて大勢を決してしまつた、この大量得點は岩瀨の二壘牽投と圓城寺の目測不判定(片岡の本壘打の際)とによるものであつたが西田の好バントが最大原因であつた、滿電は國際、消費、取引所の三强剛を堂々と倒して年來の翹望を成果したが滿電のけふあるは斷然たる奮鬪と燃ゆるが如き鬪志とたゆまざる練習とにある、終りに本大會のため審判の勞をとられた審判諸氏及び後援下すつたファンの方々に感謝の辭を捧げる

◇　◇

經過

取引　100　000　100　—
滿電　000　150　00A　—　6A2

◇一回　取引野原三壘左に直球を放ちて出で玉井中飛松木右飛後野原二盜岩瀨の二壘上を抜く單打に野原一壘還り球の本投される間に岩瀨二進したが圓城寺二匍▼滿電汐崎初球を三直飛小池ストレートの四球に出て杉谷の三匍で小池二進したが片岡二直飛

◇二回　取引武井遊匍上田投匍木原三匍▼滿電梅本遊匍小松右飛梅田二匍

◇三回　取引清水中飛後野原四球に出で玉井の三前犠バントに野原二進したが松木右飛▼滿電西田左線寄二壘打に出て佐賀遊匍汐崎の投匍に西田二三壘間に挾まれたが二壘に戻り二進ぜんとした汐崎二壘にアウトとなる小池二匍

◇四回　取引岩瀨投前バント後圓城寺右中間二壘打に出でたが武井左飛上田一飛▼滿電杉谷遊飛片岡四球に出でたが梅本の二匍に片岡二壘封殺梅本二盜後小松一二間を抜く單打に梅本還り同點となる梅田打者の時小松二盜に刺さる

◇五回　取引木原遊飛清水投直飛後野原四球に出でたが玉井一邪飛▼滿電梅田一二壘間を抜く單打に出て西田投前バントヒットに梅田二進佐賀三振汐崎遊匍に西田二壘に封殺汐崎二盜後小池左前單打に梅田汐崎還り球の本投される間に小池二進岩瀨これを刺さんとして二壘に暴投し、その間小池一擧還る杉谷四球に出て二盜後片岡左越え本壘打して杉谷片岡續いて還り梅本二匍

◇六回　取引松木二匍岩瀨投邪飛圓城寺遊匍▼滿電小松投手頭上を抜いて出でたが梅田遊飛西田佐賀共に三振

◇七回　取引武井四球に出て直ちに二盜上田三匍に武井三進し木原の二匍に武井還る清水左飛▼滿電汐崎二匍小池三匍杉谷三振

◇八回　取引野原三匍玉井右飛松木二飛失に出て岩瀨左前單打に松木二進したが圓城寺三振▼滿電片岡投手足下を抜き梅本二飛小松の二匍に片岡二壘に封殺され梅田投飛

◇九回　取引(滿電杉谷左翼に梅本遊撃となる)武井捕邪飛上田三匍PH大代三振に空し、閉戰五時二分

(取引)	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
6 野原	2	1	1	0	1	0	2	5	4	0
4 玉井	3	0	0	1	0	0	0	3	6	0
8 松木	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 岩瀨	4	0	2	0	0	0	0	2	1	1
7 圓城寺	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0
2 武井	3	1	0	0	1	0	1	4	1	0
9 上田	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5 木原	2	0	0	0	0	0	0	1	3	0
PH(大代)	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
3 清水	3	0	0	0	0	0	0	8	0	0
計	30	2	4	1	2	2	3	24	15	1

(滿電)	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
8 汐崎	4	1	0	0	1	0	0	2	0	0
5 小池	3	1	1	0	0	0	1	0	5	0
67 杉谷	3	1	0	0	1	1	1	1	2	0
2 片岡	3	1	2	0	0	0	1	3	0	0
76 梅本	4	1	0	0	1	0	0	2	0	0
1 小松	4	0	2	0	0	0	0	2	2	0
3 梅田	4	1	1	0	0	0	0	13	0	0
9 西田	3	0	2	0	0	1	0	3	0	0
4 佐賀	3	0	0	0	0	2	0	1	2	1
計	31	6	8	0	3	4	3	27	11	1

▲本壘打—片岡
▲二壘打—西田・圓城寺
▲試合時間——一時間四十八分

市の天長節奉祝

大連市主催の天長節奉祝式は皆薬薰る大連神社境内において二十九日午前十一時半より開催、小川市長、岡野助役、御影池民政署長、大內市會議長以下各市議、八田滿鐵副總裁、山西、山崎、十河各滿鐵理事、森本法院長、各警察署長、高田商議會頭、築島同副會頭、高柳中將、岩井少將、山內電々會社總裁、大竹關東軍倉庫大連支庫長、唐津大連要塞司令部出張所長、河本兵站支部長等を首め會衆約二千

吉野市總務課長の開會の辭ありて君ケ代合唱裡に國旗掲揚式を行ひ東天遙かに拜したるのち市長より奉祝の辭あり、天長節の歌を合唱し、市長發聲にて天皇陛下の萬歳を三唱し國旗降下式以て閉式したのが極めて盛會であつた

なほ大連市役所では十時半より小川市長以下吏員、大內市會議長以下各市議、杉野前市長ほか市關係者約百五十名參列し市長奉祝の辭に次いで大內議長の發聲により天皇陛下萬歳を三唱し冷酒を酌んで聖壽の無窮を稱へ奉つた

傷病兵凱旋

去る二十八日着連大江町衞戍病院に休療中であつた北田少佐以下九十八名の白衣の勇士は三十日午前十時高市一等軍醫以下の戰友に守られてあさる丸に乘船、一路母國への凱旋の途についたが埠頭には學生、國防、一般市民等多數の熱誠な見送りがあつた

旅順のお花見に　大車輪のお接待

花より團子に地元は大力み

既報本社主催にかゝる旅順大正公園觀櫻會に對して後援者たる大連、滿鐵々道事務所並びに旅順市役所では今から非常な意氣込みの下に種々一行の歡待の趣向をこらしてゐるが、先づ大連鐵道事務所では當日運轉の特別列車には特に新造の電氣熔接になるスマートな客車のみを往復共に提供し、乘客の乘心地に對する諸般の批判を乞ふとしサーヴィスに努むる一方、旅順市役所では歡迎の意を表して大正公園唯一の園遊會場と稱せらるゝ中央芝生を關東廳土木課の好意により特に提供される事を得て、同所の一隅には舞臺を設け大連山葉洋行寄贈の超大擴聲器による音樂の間斷なき放送の下に旅順美妓總出の手踊りその他東京音頭、大阪音頭櫻音頭並びに支那手品などの趣向を凝した餘興を午後一時から間斷なく行ひ、更に晝食として一般會員に配布提供するお辨當に對しては、旅順料理店組合員が腕によりをかけて調理に材料に奔命の努力を拂ふはずである
なほ旅順驛頭から大正公園間には滿電において特に車輛を增發して一般の便に供する事になり、本年の旅順觀櫻會は至れり盡せりの遺漏なきを期してゐる

白い眼で睨まれ　選手連ゲッソリ

門司で練習も出來ず

【門司特電三十日發】極東オリンピック出場選手百六十四名をのせた平洋丸は、神戶から今朝七時滿船飾を施して門司に入港、稅關三號岸壁に横づけた、折から雨が降つてゐたが間もなく晴れた、門司水上署では萬一を慮つて特定の人や新聞記者にマークを交付して之を胸に附けた者の外は絶對に船にゆかせぬこと、し、岸壁內外には多數の正、私服巡査を配置して警戒嚴重を極めてゐるので出迎人も少く至つて寂寞たるものであつた一行中野球、庭球、排、籠球、水泳等數種の選手は關門兩地に上陸して本邦最後の猛練習を行ふべく意氣込んで大々準備をしてゐたが、九時愈々上陸するといふ間際に下關水上署から形勢不穩だから上陸を見合せられたしと急報があつたので一同ゲッソリとなり全部一歩も上陸せぬことゝなつた
この日門司市は招魂祭と港祭の賑ひで未明から中天には盛んに煙花が絶え間なく打ち上げられてゐる選手一行は自分等の歡迎煙花かと思つた程であるのに、陸上を眺めながら上陸が出來ぬことになつたので悄げかへり甲板をぶらついてうらめしげに空の花火を眺めてゐる、格別歡迎に來るものもなく誠に寂しい
滿洲國には殊に深い關心を持つ門司市民多數の意見は大體は滿洲國選手を拒否したに對して幾ら大國の態度かは知らねども支那やフイリッピン相手の競技には餘りに同情がないのみか意氣地がない、日本男子は屁理窟よりも意氣を尊ぶべしだと憤慨選手の來門を白眼視して居るものが多いから危險であり且つ歡迎するものもないのだ

大會不參加選手　西田君等八名に上る

【大阪二十九日發國通】紛糾に紛糾を重ねた極東大會は西田修平選手不參加を始めとし續々脫退者を見、遂に二十八日には其の數左の八名の多きに上り何れも日本のナンバーワンの中堅闘士で大會の覇權維持に鮮からず不安を抱かしむるに至つた
陸上佐々木吉藏、竹中正一郎、西田修平、南部忠平、高田靜雄各選手、野球宮武三郎、拳鬪永松英吉同じくマネージャー泉勘次郎

山本氏辭任か

【東京三十日發國通】二十九日の關東學生陸上競技聯盟の會議で問題となつた極東大會派遣選手の行動不統一に關し學生聯盟の統制上その態度を決する事になつたが參加不參加で意見對立し結局何等決定を見るに至らなかつたので會議後早稻田大學競走部では十內[illegible]關東學生聯盟を脫退するに決し山本部長の承認を得、同夜學生聯盟に届出た、なほ學生聯盟會長山本博士も學聯會長辭任を決意し學聯に辭表を提出した

誤解は遺憾　嘉納會長の辯明

【ハルビン特電廿九日發至急報】失言問題で滿洲國體育協會の抗議電報を突付けられた嘉納治五郎氏は
余の述べたことが誤解されたのは遺憾だ余は滿洲國を獨立國と見なしてゐるのは勿論だが、外國との交渉に於ては今のところこちらの云ふ通りにはならぬ、この問題に付て種々紛爭があつたり暴行問題まで惹起したのは甚だ遺憾だ、滿洲國の參加については向後努力せねばならぬがそれが爲に日本が脫退する如きは間違で日本が參加した上で今[illegible]

森本課長離連

關東廳警務課長の重職より新たに福岡縣地方課長に榮轉の森本勝巳氏は三十日出帆しあさる丸で離滿の途に就いた(寫眞は森本氏)
滿洲事變以來、大きな變化を見せた關東廳警務關係の重要な役割りを一人で背負つて立ち名課長の名をほしいまゝにしてその親分肌な手腕と理智的な仕事ぶりで滿洲國並びに軍部との間にとつて知りよろしきを得せし[illegible]
のがあるが、埠頭には石井監察官、森本法院長、池內檢察官、寺田大連、久下沼水上、廣石沙河口、大場小崗子、今井消防各署長を始め警部補以上の總出動流石に金筋燦然と警務課長を送る

情死、仕損じて　留置場に冷い春

情死しそこれた駆落者が春といふに冷たい留置場につながれて儚なら浮世を怨んでゐる——福岡縣二日市マオラン株式會社々長の實弟川邊巖(二四)は同市檢番藝妓だるま事合力ウメ(一九)と深くなり二世を契る仲となつたが親戚の反對で晴れて夫婦になれぬところから心中の相談が纏まり、男は兄の金三百五十圓を引出し女を足抜きさせて去る二十五日門司出帆のうすりい丸に乘り込んだ、船の上から二人抱き合つて海中に身投げすべく二人は幾度も甲板の上を右往左往したが、その都度人目に邪魔されて決行することが出來ず、ぐづ〳〵してゐるうちに船は二十七日大連へ入港した二人は遂に身投げを仕損れて決心も鈍り上陸後市內濱町一丁目都旅館に投宿したが、門司を發つ時「死んでゆくのに金はいらぬ」と盗んだ金の大部分を料理屋の借金に支拂つてゐたので上陸早々から金に窮し、郷里の兄へ送金方を依賴したことから[illegible]署に取押へ方を電報して來たので、同署吉岡、船曳兩刑事は二十九日夜都旅館から男女を拘引し迎へに來るまで二人の身柄を留置することゝなつた

光瑞氏講話

若草山西本願寺內の光壽會では五月一日より三日間毎日午前十時より大谷光瑞師の金光明最勝王經講話法筵を設け會員の參聽を待つ由

老人も危險

足許から鳥が立つて天然痘防止で大童の海務局が自分乍らアッケにとられたと云ふ話、海務局海事課指定代書人森川吉大(五〇)は廿八日發病し三十日天然痘と確定の上療病院へ收容されたが、檢疫課のドクター連は今更消毒に多忙を極めてゐるが、これによつて見ても如何に種痘が大切であるかを物語つてゐる
この代書の爺さん皆が種痘の際「わしは老人だし一杯やる必要もあるから種痘はせんでも大丈夫ですよ」と種痘を受けなかつたものだ

天氣予報
北西の風晴一時曇　一日
滿潮(午前一一時一五分　午後一一時三〇分)
干潮(午前四時三〇分　午後五時四五分)

各地溫度　三十日午前十一時
大連 十二　奉天 十五
旅順 七　新京 十五
營口 十五　新義州 十三

今日の小洋相場(十一時半)
金百圓につき百二十九圓八十七

大連富士の　裾野火事

松五百本燒失

二十九日午後零時半頃突然大連富士裾野に起つた山火事は、星ヶ浦方面の行樂に浮かれてゐる人々を驚かせたが、折柄の風にあふられて火足は枯草をなめて延びる一方

附近通行中の實業野球團監督安藤忍氏の如きは附近に遊んでゐた小學生をかりあつめて大いに消火に努めたが一向鎭火せず、附近が要塞地帶であるだけに成行は非常に重大視されてゐた處漸く驅けつけた消防署員に小學生が應援、午後二時過ぎ二萬四千坪の芝地と三年生、四年生松五百本を燒失漸く鎭火した、原因損害目下調査中【寫眞は燃える裾野】

ろにふさはしい風景であつた

上、滿電汐崎還る…五回裏…下右、優勝旗授與
同左、凱歌をあげる滿電チーム

丹下左膳 (90)

新講談 林不忘作 小田富彌畫

いのち綱(七)

けれど、この壺である。

こけ猿の茶壺を片手に、蒲生泰軒、考へ込んでゐると、それに眼をつけたチヨビ安、頓狂聲を上げて、

「ヤア、あたいと父上が、一生懸命に守つて來た壺。こなひだ父が何處からか持つて來たのに、どうして此處にあるんだい」

「シツ!大きな聲を出すな。この壺は、それとは違ふ」

「イヤ、同じ壺だ。あたいにはちやんと見覺えがあらア」

「これ、この壺のことなかれこれ申すなら、左膳を助けに行つてはやらぬぞ」

「アラ、チヨビ安さんだわ。チヨビさんだわ」

聲を聞きつけたお美夜ちやんが家から走り出て來て、

「安さん!あんた、まあ、よく歸つて來たわれえ」

「オウ、お美夜ちやんか。會ひ度かつた、見たかつた」

なんかとチヨビ安、一ぱしのことを言つて、お美夜ちやんの手を取らうとすると、ハツと何事か思ひついた泰軒先生、

「コラ／＼、チヨビ安とやら、只今はそんなことを言うてゐる場合ではあるまい。生き埋めになつた丹下左膳を助け出しに……」

「オウ、さうだ!お美夜ちやん!何れ、積る話はあとでゆつくり―小父ちやん!さあ、行かう」

「待て!」

と泰軒先生、お美夜ちやんの傍に蹲踞み込んで、

「今夜はお美夜ちやんにも、一と役働いて貰はねばならぬ」

と、何事か、そつとその耳に囁けば、お美夜ちやんは、可愛い顔を緊張させて、しきりに頷いてゐた。それから間もなくだつた。

二組の人影が、このとんがり長屋の路地口から左右に別れて、漆よりも濃い江戸の闇へ消え去つたのだが……。

その一つは、泰軒先生を促して一路穴埋めの現場へ急ぐチヨビ安もう一つの小さな影は。

大きな風呂敷でこけ猿の茶壺をしつかと背負つたお美夜ちやん、

淋しい夜道に、身長ほどもある小田原提灯をブラ／＼させて、一人とぼ／＼歩きに歩いた末。

生れてから、こんなに遠く家を離れたことのないお美夜ちやん。

しかも、夜中。

兩側の家は、ピツタリ大戸を下ろして、犬の遠吠えのみ眞つ暗な風に乘つて來る。作爺さんは足が利かないで、お役には立たず、朝まで待てない急な御用と聞かされて、怖いのも、淋しいのも忘れたお美夜ちやんは、背中にしよつたこけ猿が、疲れた小さな身體に、だん／＼重みを増してくるのを堪へながら、幾つとなく辻々を曲がり、町々を經て、やがて來かゝつたのは櫻田門の木戸。

番所を固めてゐる役人が、驚いて、

「コレ／＼、小娘、貴樣、寢ぼけたのではあるまいな。そんな物を背負つて何處へ行く?」

六尺棒を持つたもう一人が、そばから笑つて、

「大方、引越しの手傳ひの夢でも見たのであらう」

「いゝえ!」とお美夜ちやんは、可愛い聲を張り上げ「あたしね、南のお奉行樣のお役宅へ行くんで[illegible]さ、[illegible]ほして下さいな」

紅蓮地獄

例の野村胡堂原作で好評を博してゐる錢形平次捕物控への一つで寛壽郎[illegible]

えいぐわとえんげい

日活の實演隊 近く來滿か

中谷新社長の渡滿を機とし 滿洲出張所で計畫中

日活本社の中谷新社長は就任以來日本全國の日活系常設館の視察を行ひ、近く滿鮮方面にも來る豫定と傳へられてゐるが、濱田日活滿洲出張所長は本社中谷社長の來滿を機として日活俳優の實演隊を渡滿せしむべく、目下計畫を進めてゐる、卽ち濱田滿洲出張所長は前任伊藤氏と交代以來全滿の日活系統を一層鞏固たらしむべく努めてゐたが、來月末頃中谷社長が渡滿するとの通知に接すると同時に更にこの際日活の滿洲における活躍を徹底せしむるため社長と共に女優を中心とした實演隊の渡滿を計畫し、右の旨を本社に進言する處あつた、濱田出張所長は十中八九までは實現するものと見てゐるが計畫が具體化されるとすれば五月下旬には實演隊が京都出發、初夏の滿洲に向ふこととなる模樣である

天長節の夜の各館共に滿員

日活館、中央館は札止め

四月最終の日曜日――天長節の映畫街を打診して見る……やゝ西北の風は强かつたが、朝來の快晴に郊外への行樂日和であつたゝめ、晝間興行はもとより夜間興行も相當たゝられるのではないかと見られて當業者も少なからず氣にしてゐたが、事實は全然豫想を裏切り各館共に非常な好調、豫想外の成績をあげた、中で最もよかつたのは日活館と中央館で、日活館は千惠藏の「風流活人劍」とカリン・ハルトの「ボートの八人娘」で僚紙大連新聞後援、料金割引きの階下四十錢、階上六十錢、中央館は阪東妻太郎最初の現代劇、流行小唄映畫「さくら音頭」と「春姿だんだら染め」で料金は階下五十錢階上七十錢であつたが、何れも大入滿員で札止めの盛況、館內の收容人員が同じ位で何れを一二とも定め難い位のいゝ勝負であつた、次が阪妻の「野狐三次」と鈴木澄子の「魑魅錄」を組んでゐる映樂館で入場者約八百人、次が常盤座のクーパー主演の「今日限りの命」で入場者約六百人、大體以上の如き成績で、四月最終の日曜日としては非常な好成績であつた

ユ社映畫紹介

大空の闘士

オールトーキー 映樂館上映

ユニバーサル社特作全發聲の空中映畫、ジヨン・フオード監督 ラルフ・ベラミイ、パツト・オブライエン、グロリア・スチユアート孃等が主演してゐる

砂漠の中に小さなエア・ポートがある、こゝに詰めてゐる若い四人の飛行士は夜であらうが、嵐であらうが、一日に一回は必ず郵便物を積んで飛行せねばならない、一番腕達者なデユークは仲間のテジーの浮氣な妻アイリンと邪な戀に陷つてゐたが、クリスマス・メイルを積んだテ[illegible]

吹雪の夜殘された二人の飛行士の內の上席マイク・ミラーは年に一度のクリスマス・メイルを何うしても空輸すべく吹雪をついてロツキー山を越えやうとして物語りは複雜となつて來る

我々は幾度となく飛行映畫を見られたが、それがどんなに冒險慄烈であると云はれても、本當に冒險であると感じられたことは殆どない、然しこの「大空の闘士」だけは明かにトリツクでない本當の高等飛行を見せ觀客のドキモを拔く、こゝに最初の一、二卷は物凄い迫力を持つてゐる、後半は空中飛行を見せるよりも劇が主となつてゐるが、クリスマス・メールをつんだマイク、ミラーの飛行機が吹雪をついて飛び出し、ロツキー山で遭難、全米の飛行機がラヂオによつて救出に出動するあたり相當面白くスピードもあるが、デユークが片翼された飛行機でマイクを救出してくる所は一寸まずい、この僅かな缺點さへなかつたなれば「大空の闘士」は空中映畫の最高峰となつたであらう―8―(映樂館上映)

うわさ話

松竹レビユーの來連は大連の映畫街に相當以上の打擊を與へることは當然で▲中でも一番弱つてゐるのが映樂館、五月下旬までには小歌の市丸を招聘することに話が決定してゐたが、松竹レビユーと衝突する程馬鹿げた眞似もできず▲結局レビユー颱風を避けて市丸の來連は延期、六月アカシヤの花が香るころ來連することにならう▲來週「さくら音頭」を上映する日活館では三田尻綾數名を動員して舞臺で「さくら音頭」を踊らせる計畫、目下猛練習中であるが、唄は大連會館の丸山夢路、藤田エン子[illegible]▲中央館の五月第一週プロは[illegible]田の「夢見る頃」と下加茂の「冬[illegible]

優勝は何校? 懸賞當籤者發表

去日本紙掲載の第十一回全國選拔中等學校野球大會懸賞廣告應募の正解者中より抽籤の結果左記の諸氏當籤され賞品を贈呈致しました

一等 名古屋市東區新出來町三ノ二五 伊藤一雄殿
二等 富山縣婦負郡杉原村西福道 川口伊三次郎方 池野三郎殿
二等 京都市上京區相國寺北門前上ノ町 堀三男方 山本義雄殿
三等 鹿兒島縣日置郡市來町湊町 野平光夫殿
三等 熊本縣上益城郡濱町下市 西山守之殿
三等 北海道北見國丸瀬布 河合宮子殿
三等 松江市白潟本町七二 角南吉右衛門殿
三等 台北市元園町一七八番地 林據銀殿

大阪市東區高麗橋五丁目 廣告代理業 株式會社萬年社

當籤發表

去る三月廿六日本社が大連市內で代表的信用ある著名會社及商店の紹介と共に新春の慰みとして懸賞を募りました處內地は勿論遠く海外よりの應募もあつて正解者實に二萬七千五十三通の多數に上りましたが本社にて嚴正抽籤の結果左の諸氏が當籤されました

四月三十日

滿洲日報社

一等 萬古(デスクスタンド二本立)萬年筆 一名
大連市伊勢町三一 原田壽雄

二等 萬古萬年筆ペンシル組合(一組宛) 五名
大連市櫻町七八 勝俣文子
大連市西公園町大塚ビル 草刈秀臣
營口旭街 中島彌市
福岡縣鞍手郡山口村淺ケ谷鳴水 荒牧繁
新京日本領事館內二四 樋渡儀三

三等 萬古萬年筆(一本宛) 一〇名
大連市若狹町四五 廣瀨春美
大連市敷島町六八 加藤和子
大連市沙河口大正通 大谷三男
大連市濱町野崎內 大野恒吉
撫順彌生町六丁目一ノ九 池田利子
旅順市名古屋町一七 柏木俊也
奉天柳町五番地 山口勝
新京當通學校內 安乘壽
東京市牛込區市ケ谷長延寺町四 石黑壽星
山梨縣南都留郡福地村六四二番地 渡邊澄子

滿洲日報
四月三十日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 濱本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

聖壽無窮
新綠の大內山に 君民和樂の御宴
天長節祭行はせらる

【東京二十九日發國通】天皇陛下には春秋彌々御芽出度く大內山の新綠さわやかに照り映ゆる二十九日寶算滿御三十三歲の佳節を迎へさせられたこの日宮中においては午前十時賢所皇靈殿神殿に天長節祭を行はせられ、掌典部員奉仕して早朝より裝飾し午前九時四十分宮內省勅任奏任各總代着床、三條掌典長、立花同次長以下奉仕し莊重な神樂歌の中に御開扉神饌幣物を供し、三條掌典長祝詞を奏し奉れば天皇陛下御代拜の侍從恭しく拜禮し次いで諸員の拜禮あり更に皇靈殿、神殿に於いても同樣の儀式が行はれた

午後零時半天皇陛下には御正裝に大勳位菊花章頸飾を御佩用神々しい御姿にて湯淺宮相、鈴木侍從長、本庄武官長以下側近を從へさせられ林式部長官の御前驅にて出御、秩父宮殿下を始め皇族方に御對面、天長節の拜賀を受けさせられ次いで各國大公使齋藤首相以下各國務大臣その他顯官等に謁を賜ひ一同を從へさせられて豐明殿に御參進、諸員最敬禮中に中央の玉座に着かせられ玉音いとも嚴そかに優渥なる勅語を賜ひ、齋藤首相はこれに對し群臣を代表し又外交團首席白國大使バッソンピエール氏は外國使臣を代表して恭しく奉答文を奉讀し終つて御開宴一同に酒饌を賜はり陛下にも幾度か玉盞をかたむけさせ給ひ皇室の御榮彌が上にも慶でたく一時過ぎ君民和樂の御宴を終へさせられ陛下には御機嫌麗しく入御あらせられた

尚この日皇后陛下には正午より秩父宮高松宮兩妃殿下を始め各宮妃殿下を宮中に招かせられ御內儀に御內宴を催されて限りなき御慶びを壽がせられた

天長節大觀兵式
代々木原頭の盛儀

【東京二十九日發國通】聖壽滿三十三年の御誕辰を壽ぎ奉る天長節觀兵式は本年は皇太子殿下御降誕に光輝一入映えて二十九日の佳き日青葉風薰る代々木原頭において盛大に擧行された、この日この聖代の盛儀を拜觀せんものと詰め寄せた人々は無慮三萬

式場には諸兵指揮官西義一中將の率ゐる近衞第一兩師團の精銳一萬四千名が整列代々木原頭寂として聲なく一方陪觀の各皇族方をはじめ齋藤首相以下の諸官及び各國大公使其他文武百官陛下の行幸を御待ち申上げるかゝる中に大元帥陛下には陸軍樣式大元帥の御正裝に御英姿颯爽と本庄侍從武官長御陪乘、湯淺宮相、鈴木侍從長、林式部長官以下供奉第二公式鹵簿を整へさせられ午前八時十五分宮城御出門御順路を神宮表參道から代々木練兵場へ、同八時五十五分原頭に天皇旗燦と輝けば湧き上る莊嚴なる君が代の奏樂こだまする號令に嚴肅の氣は原頭を壓す

かくて諸員最敬禮の裡に陛下には龍顏いとも麗しく式場に着御便殿に入らせられ御先着の各皇族殿下に御對面、次で諸兵指揮官西中將、諸兵參謀長工藤少將、齋藤首相以下各國務大臣各國大公使等に拜謁仰せつけられた後同九時五分御愛馬白雪に召された

この時諸兵指揮官西中將の號令一下愈々莊嚴なる閱兵式は開始され陛下には侍從武官の先導で各皇族殿下、本庄侍從武官長、西諸兵指揮官、林陸相以下諸將星並に外國武官等を隨へさせられ粛々と馬を進めさせ給ひ、近歩第一聯隊より順次各部隊の威容を親くみそなはせ給ひ同九時二十三分よりは玉座の前に駒を立たせられ諸兵の分列行進を御親閱遊ばされ

一方同九時五十五分、にはかに起る爆音と共に所澤飛行學校長堀中將指揮の立川飛行第五聯隊、所澤、下志津兩飛行學校の戰鬪、偵察七十三機が整然たる編隊で飛來式場の空を壓して空中分列式を行ひかくて地に空に聖壽萬歲を壽ぎ奉つて十時十八分盛儀を終了、陛下には再び鹵簿を整へさせられ諸員奉送「君が代」奏樂裡に御機嫌いと麗しく同十一時十分還幸あらせられた

滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は三十日午前十時より開會
八田副總裁、十河、竹中、山西、大淵、山崎各理事、石本總務部長、中西地方部長等出席し三十日來連せる大淵東京支社長より中央に於ける會社要務報告及び同日歸連せる中西地方部長より教育行政移管問題に就いて拓務省との交涉成行に就き報告あり次いで粟野奉天地方事務所長の滿洲炭礦會社入りに伴ふ奉天地方事務所長後任及び地方部課所長の人事異動に就き協議あり、正午中頃散した

秩父宮殿下御渡滿か
滿洲國への特使宮として
政府、御差遣を奏請せん

【東京二十九日發國通】政府は滿洲國帝政實施につき同國に慶祝の意を表するため畏き邊りより特使として皇族殿下の御差遣を奏請することに決し齋藤首相は過般來鈴木侍從長、湯淺宮相等の內意を徵すると共に原田西園寺公秘書を通じ西園寺公の諒解を求めてゐたが諒解を得たので近く正式奏請の手續を執ることゝなつた、而して政府宮內省では秩父宮殿下御差遣を奏請したきことに意見一致を見てゐる模樣であるが、若し御差支ある場合は梨本宮殿下を奏請することゝなると觀らる、特使宮殿下御渡滿の時期は五月下旬か六月上旬の御豫定で、御都合に依つては或はこの秋に御延期あらせられるやに承はる

宇垣總督上京

【京城三十日發國通】宇垣總督は五月中旬久々で上京現地の統治狀況報告と共に、米穀對策を協議するがこれを機會に宇垣總督自身は自重するとも政界一部の策動があるべく注目される、なほ同じ頃中川臺灣總督も上京する

陸軍省恤兵部 近く廢止

【東京三十日發國通】陸軍では滿洲事變後出征軍人慰問金が多數なので陸軍省內に恤兵部を設けたが滿洲の狀態が平常に復歸し恤兵事務も減少したので近く右廢止と同時に恤兵事務は官房で取り扱ふことになつた

本社 一萬號卅周年記念
春酣の霞半島に 展開された大繪卷
廿九日の祝賀大會

紺碧の空に炸裂する煙花、地には今しも綻び初めようとする櫻と若草の織織りなす諧調、之に配するに和洋音樂の豪華なメロデーと舞踊に千餘の來賓の心を浮き〳〵と唆り立て、會場の萬國旗と本社旗またけふの盛儀をたゝふが如く潮風にはためく……四月二十九日天長節の佳き日をトし風光絕佳の星ケ浦霞半島に繰り擴げられた本紙一萬號並創立三十周年記念祝賀會の光景は花に魁けた大繪卷である

祝賀式と演藝會
開かれた模擬店の賑ひ

この日夜來の氣遣はれた天候もカラリと晴れ渡り、北風や、強かつたが春を乘せて送り來る風のくすぐるやうな溫かさ、まさに天長の佳節を壽ぎ、記念すべき祝賀會日和といつた絕好の行樂天氣に心唆られて、本社が招待した千餘の朝野大官民は定刻前既に會場たる星ケ浦霞半島へと陸續と詰めかける、會場は陸地に面して紅白の幔幕を張りめぐらし海に突出した島の左側に祝賀式場(餘興場)を設け、前方ぐるり三方に模擬店が建ち並び、大園遊會の設備萬端は整はれてゐる——會場入口には本社員接待員と十數名の美妓連が待ち構へて、續々と詰めかける來賓に桃色バラの胸章と祝賀會プロとを手渡す、來賓中には愛兒の手をひいた夫人、夫妻連れだつた幾組もありさながら大家族會の如き和かな光景を呈し、さしも廣い會場は千餘の來賓とこれを接待する美妓連とで埋められ、春陽照り映えて肌に汗ばみさへ覺えさす麗かさだ——

正午を過ぐること三十分、三發の花火を合圖に記念祝賀の式典が開始された、會場正面には來賓を代表して日下關東廳內務局長、八田滿鐵副總裁、小川大連市長、高田商工會議所會頭、寶性大連新聞社長の諸氏居並び、先づ細野本社編輯局長開會の辭を述べ次いで大連會館バンドの奏づる樂につれて來賓一同起立莊嚴なる國歌「君が代」を合唱續いて、村田本社長は來賓諸氏に對し

紙齡一萬號並に創刊三十周年を迎へたる本紙の光輝ある歷史を述べ今後尚一層の御聲援を願ふ旨の挨拶をなし引續き

日下內務局長、林滿鐵總裁(八田副總裁代讀)小川大連市長、高田商議會頭、寶性大連新聞社長の順序で祝詞を朗讀、更に本村本社營業局長より內閣總理大臣及び各大臣並に菱刈關東軍司令官ほか二百餘通の祝電披露あり、終つて御影池大連民政署長の發聲で「天皇陛下萬歲」を三唱、極めて莊嚴裡に祝賀式を閉ぢた

春空に打ち揚ぐる花火とバンドの奏樂に式場を離れた來賓は四圍に設けられた模擬店に思ひ思ひの足を運び、美妓の歡待に乾盃々々……ビール、酒、燒鳥、壽司、うどん、おでん等々が最も人氣を買ひ、どこの模擬店も黑山の人だかり、甘黨のサイダー、カルピス、しるこ、だんごもなか〳〵よく賣れ「しるこ」「だんご」は忽ち品切れといふ盛況

この間大檢淡月席連中の淸元「青海波」これに續いて逢阪快樂連中の長唄「吾妻八景」の餘興あり、その妙技は觀衆を魅了し最後に大檢連中の「かつぽれ」に乙な藝を見せて滿場の興を添へた、微醺を帶びた頰に海から送つて來る涼しい風が撫でて得も云はれぬ春の感觸に時を過ぐるを知らず、會場到るところに歡聲と笑聲が湧き、早春の行樂を滿喫した、かくて歸りには來賓洩れなく折詰を贈り記念すべき意義ある祝賀會は四時三十分ごろ終つた

祝辭

滿鐵副總裁

滿洲日報社本日茲に天長の佳節をトして創刊三十年一萬號記念祝賀式を擧げられ吾等亦參列するを得たるは洵に欣幸とする所なり、抑々言論機關の國家社會の發達に貢獻する所至大なるは贅言を要せず貴社は此の新興多望の大連に崛起し高く論壇に旗幟を堅てられてより早くも既に三十年を經過し國難を賭して獲得したる靈地經營の跡を終始審にするもの實に貴日報なりと謂ふ可く貴紙の業績は帝國の施設と共に基礎愈々鞏固なり

◇

今や滿蒙の地は滿洲事變を期劃として情勢全く一變し善隣滿洲帝國の建設成り極東和平の基礎茲に展開し言論機關の責務も亦一層重大を加へんとす、此時に當りて貴社は此に朝野の名士を會して記念の祝賀盛典を擧ぐ洵に慶賀に堪へざるなり、冀くば將來益々發奮以て時勢世相を指導照映して一世の木鐸となり國家社會に貢獻せられんことを盛式に列し聊か蕪辭を陳れて祝辭となす

昭和九年四月二十九日
南滿洲鐵道株式會社
副總裁 八田嘉明

內務局長祝辭

滿洲日報社は本春紙齡一萬號に達し創立三十周年を迎へ社運益々隆昌に赴きつゝあるは慶賀に堪へざるなり、由來新聞事業の經營は難事中の難事と稱せられ世上新聞紙を發行するもの百千を以て數ふと雖も克く其の目的を達し斯界に雄視するものに至りては寥々として十指を屈するに足らず、滿洲日報が春秋三十年、今日の大を成したるは洵に偉とするに足り以て創業以來歷代の經營者に其の人を得、社員各位の異常なる努力、忍耐と其の功績とを想ふべきなり、滿洲日報は設備完備し夙に記事の精確豐富、報道の周到迅速を以て聞え、加ふるに言說に當り愼重苟もせず常に大所高所より國家社會の正義を標榜堅持し高論讜議、千里獨行の槪あり、今や社會の信用多大にして幾萬の讀者を擁し滿洲の言論界に斷然たる地步を占む、盛なりと謂ふべし

◇

顧みれば日露戰後滿洲日報が大連に呱々の聲を揚げてより世界の形勢は大なる變遷を絆、殊に日滿間の關係は非常なる進展を示し、今日を以て當時を回想するときは殆んど隔世の感あり、而して滿洲日報は我生命線たる滿洲の關門に於て終始一貫我國策たる東洋平和の確保、民族福祉の增進の爲めに奮鬪努力を續け時勢の進展に貢獻する所甚大にして滿洲日報三十年の活歷史は即ち日滿兩國三十年の發達史と稱するも敢て過稱に非ざるなり、今や內外の情勢は益々重大にして帝國の負荷愈々加重せられんとす、滿洲建國大業の今後の隆替は世界の環視する所にして同國と特殊關係を有する帝國の一大試金石なりと謂ふべし、此の非常時局に當り善處するの途は國論を統一し國力を傾倒するに在り、輿論指導の任を有する言論機關の責務大なりと謂はざるべからず、玆に滿洲日報社今回の祝典に當り衷心より其の成功を賀すると共に將來倍々其の大使命の遂行に邁進し以て日滿兩國の親善、滿洲國の發達の爲めに盡瘁せられんことを切望す、聊か蕪辭を陳べて祝詞とし謹て社運の隆昌長久を禱る

昭和九年四月二十九日
關東廳內務局長 日下辰太

商事會社の獨立 反對はない
大淵滿鐵理事來連談

滿鐵東京支社長大淵理事は滿鐵の資金手當も一先づ片付き中央關係要務も一段落ついたので三十日午前七時二十分入港の扶桑丸で來連したが滿鐵の資金手當その他について語る

本年六月までの會社の資金手當が思ふ通りに片付いたので昨年十月來久し振りに本社に來た、本年は簡易保險の一千五百萬圓を以て滿鐵社債に應募したが

簡保
の事業會社社債融資は今回が初めてで我國金融界において劃期的のことで社債の新機軸だ、今後も簡保の餘裕があれば融資されることゝなる、これは一面滿鐵の事業會社として基礎確固たること及び內地財界における强固なる信用を物語るものだ、このほか近く認可となるが既に三千萬圓の社債募集も決定し合計四千五百萬圓を以て本年六月までの社債募集は打切だが、九年度社債募集豫定額中四千五百萬圓は片付いたわけだ、昨年度は一億五千萬圓の社債募集を行つたがこのうち一億五百萬圓の借換をやつた、この結果六分社債は五千萬圓一つしか殘つてないが孰れ

時期
をみて善處する筈だ、何分社債募集の仕事は難しいことで民間預金一億圓なければ三千萬圓の社債募集は困難だ、來年度には一億五千萬圓乃至二億圓位の社債承認を得たいと思ふ

商事會社獨立問題に就いては傳へられるやうな內地經濟界に反對意見はない、要するにビジネスペイスを以て行はれるなら、實業家方面でも當然のことゝして異見はなからう、滿鐵改組問題に就いても中央關係各省で愼重にやつてゐるが、傳へられるやうなものとは大分趣きが違ふやうだ、傍系會社の切離し問題は方針は公示されたが早く具體的に運ぶやう決めなければならないと思ふ

確固
たる責任者を設けてやるべきだらう、地方行政移管問題に就いては滿洲で滿鐵と關東廳なり其の他との間に對立的意見が現はれることを中央では避けたがつてゐる

政府の方針で すべて善處
中西部長歸連語る

教育行政移管問題に就いて上京拓務省その他關係方面と折衝中であつた滿鐵中西地方部長は三十日入港の扶桑丸にて歸連したが、船中語る

先般滿鐵教育行政移管問題が閣議に提出されて諒解を得たやうに傳へられたがあれは虛傳で全然そんな事實はない、拓務省から滿鐵の教育行政移管問題が提議されたに就いては拓務省の意見として滿鐵は今後滿洲產業開發の中心として活躍すべき方針だから從つて產業以外の非營利的負擔は滿鐵から免ずるといふ見解のもとに行政の如きは國家がやるものとして就中教育行政は國家の手に取り敢へず移すものとして關東廳移管說を提議したものである、自分にも拓務大臣から教育の移管に就いての話はあつたが一應調査しようといふことになつて別れた、附屬地外滿洲國內邦人小學校の滿鐵委託經營解除問題に就いては種々の事情で目下折衝中だが委託經營をやるにしてもやめるにしても滿鐵から話を持ちかけるわけでなく政府の意思によつて善處するのだ

島田臺銀頭取 辭表提出

【東京二十九日發國通】黑田次官は二十八日高橋藏相を訪問、島田臺銀頭取の進退問題を協議した結果、島田頭取は一兩日中に正式辭表提出の筈である

寫眞說明

(上から)會場入口から式場に向ふ會衆、祝賀式場、村田本社長の挨拶、左八田滿鐵副總裁の祝辭代讀、右日下內務局長、快樂連の餘興吾妻八景、乾杯する諸名士、繁昌する模擬店のだんご店

蛇角

◇

昨、天長の佳節は折からの麗春滿洲の邊土また皇澤普し、頌せざらめや。

◇

〃力ある者は德を以て人を服し力なき者は德を養つて己を救ふ〃

これは渡日の王揖唐君が、蜜敎の敎理をひいて日支親善を說いた一句だが。

◇

力あるものいまだ德足らず、力なきもの放恣いよ〳〵旺なりでは親善も前途遠からう。

◇

秩父宮殿下、滿洲國への特使宮たらんとされる御模樣である。具現すれば歡喜のほど甚くも畏きはみである。

あめりか丸船客

【門司特電三十日發】二日大連入港豫定のあめりか丸の主なる船客退役陸軍少將長谷部照俉、谷口英次郎、井上秀二、宮本八十造原口純信

はるびん丸

一日午前七時三十分大連港外着の豫定

人事

▲青木信一氏(滿鐵ハルビン事務所派遣技師)三十日午前七時四十分着列車にて來連
▲齋藤固氏(北鮮鐵道管理局長)同上
▲小林員之輔氏(北鮮管理局工務課長)同上
▲村田懿麿氏(滿日社長)三十日午前九時發はとにて奉天へ
▲中村猛夫氏(同外交部長)同上
▲大澤隼氏(哈日社長)二十九日夜ハルビンより來連
▲鹽業調査隊一行 三十日午前九時發はとにて普蘭店へ
▲栗山茂二氏(滿電業務課長)同上瓦房店へ

生活の虹 (113)
菊池寬 作
志村立美 畫

虹は崩れる (六)

典子はさわやかな色のレースの布で蔽はれた、フランス風の氣持のよい木造ベッドの上で、眼をばつちりと明けて、にはかに、居なくなつた綾子の行動を心の中で探つてゐた。

それから、それへと、思ひ出し思ひ合せて行くと、兄も村山も、昨日は頓に、自分に對する態度がちがつてゐた。

綾子が村山の家に行つてゐるのだとすれば、村山が、自分があんなに綾子を嫌つてゐるのを承知で綾子を連れて行つたのなら、此の上ない自分に對するひどい裏切りである。

兄もそれに賛成してゐるとすれば、自分の存在は、まるで、ゴミのやうに、默殺されてゐるのである。

典子は、勝氣の上に、誰からもチヤホヤされて、はれ物にさはるやうにして、成長くなつて來ただけに、兄達から、こんなにまで默殺されたと、考へただけで、胸が惡くなるほど口惜しさを感じた。

嘗て感じたことのない口惜しさ憤ほろしさに、淚さへ出ないほど一時は、ぼかんと、白々しくすべてが考へられた。が、兄の部屋を出て、自分の寢部屋に獨りになると、いまいましさまなじりを割つて、口惜し淚がじんわりと滲み出した。

頭が、一時にムーツと熱くなると、ヒステリカルな興奮に、居ても立つてもゐられないやうな氣持になつた。

彼女は、村山の家に居るかも知れない綾子を、思ひ切り罵倒してやり度かつた。

それには自分が早まりすぎた。と、彼女は後悔するのだつた。

運轉手に聞いたことを、兄に云つてしまふのではなかつた。兄は村山の家に、電話か速達か何かの方法で、自分がすべてを知つたと云ふことを、知らせるにちがひない。

と、そこまで考へて來ると、典子は、ベッドをはね降りると、わがまゝに、やんちやに育つたお孃さまは、幼い時に、兄から叱られた時の仕かへしをする時のやうに足音をしのばせて、兄の寢部屋に上つて行つて、そつと、樣子を探り、どうやら邦男が、寢入つてゐるらしいのを知ると、そつと隣の書齋に入ると、卓上電話の送話器を摑むと、力まかせに、紐をもぎとつてしまつた。

もう一つ電話があつた。

玄關の脇である。彼女は、少し自分の思ひ切つた行動に、愉快な微笑ひさへ浮べて、そこの電話もこはしてしまつた。

ベッド・ルームに歸ると、スプリングのいゝベッドの上に、水の中へでも飛びこむやうに、身を橫たへると、何となく痛快だつた。

「明日は、早起きよ」

と、自分自身に云ひきかせて、ついぞかけたことのない、直ぐ枕元の小さい飾り棚に載つてゐる、スイス製の掌の中にも入つてしまひさうな小さい眼覺し時計のネヂをまくと、七時に鳴るやうに、針を廻して、ニヤ〳〵笑ひながら、スタンドの紐を引いた。

球神取引所に背き 雌伏の滿電制覇

6A—2

燦たる本社優勝旗を擁して 滿倶球場のドヨめき

榮光に輝く昭和九年度の王座を決すべき本社主催の第十九回關東州野球大會の最終日たる二十九日……この榮ある決戰に相見ゆる二强剛一は鐵腕岩瀨投手の率ゐる新興の大連取引所倶樂部チーム、他は國際運輸に覇權を奪はれて苦節四年虎視眈々として制覇を望む南滿電氣軍……一時頃より早くもつめかけた觀衆は時のたつにつれ益々その數を加へ、二時半には内外野スタンドともに立錐の餘地なき超滿員、午後三時十四分汐崎（球審）永澤、安藤（壘審）三氏審判取引所先攻で開始、先攻の取引所先づ一回表堂々と先取して滿電を壓すこれに對する滿電は汐崎、小池、杉谷、片岡、梅本の巨砲を揃へて一氣に取引所の牙城に迫らんとするも岩瀨の老巧と玉井、野原の好守にはゞまれてならず、漸く四回小松の單打で一點を擧げ同點となる、いづれも劣らぬ珠玉チームの鍔ぜりあひ、展開される攻防の流轉相、球熱高潮して大觀衆は拍手と喚聲の嵐、而して五回裏滿電の健棒さえて一擧五點を奪ひ大勢決するの感あるも爾後取引所しばしば滿電陣を脅かす、熱戰の進展は滿場の觀衆を極度に緊張させ七回表一點を返せしも成らず遂に六A對二で昭和九年度の覇權は滿電ナインの占むるところとなつた、右試合終了後岩瀨取引所、梅田滿電兩主將の手に依り國旗の降下式をなし引續き滿電軍は本部前に整列村田本社々長より本社優勝旗、山本、松岡前正副總裁盃、片山ボール賞盃、大朝、大毎兩優勝旗を授與し午後五時二十分幾多の輝かしい接戰、熱戰の記錄を殘して第十九回大會の幕を閉ぢた

◇　◇

數日前以來風邪の岩瀨投手は病をおしてプレートに起ち、滿電は小松を送る、一回表早くも取引所は小松の球を打つて出て先取の一點を擧げる、これに反し滿電軍は岩瀨の老巧にはばまれて凡退し四回同點の一點を得るまでに僅かに二安打ありしのみで、或は取引所に凱歌揚がるのではなからうかと思はれた、然しシーズン當初より猛練習を積む滿電軍の鋒鋒は五回裏に漸く現れ、西田の好バントをきつかけとして二死後五點を奪つて大勢を決してしまつた、この大量得點は岩瀨の二壘悪投と圓城寺の目測不判定（片岡の本壘打の際）とによるものであつたが西田の好バントが最大原因であつた、滿電は國際、消費、取引所の三强剛を堂々と倒して年來の宿望を成果したが滿電のけふあるは闘志の溌剌たる其熱と燃ゆるが如き闘志とたゆまざる練習とにある、終りに本大會のため審判の勞をとられた審判諸氏及び後援下すつたファンの方々に感謝の辭を捧げる

◇　◇

經過

取引 100 000 100
滿電 000 150 00A　6A2

◇一回　取引野原三壘左に直球を放ちて出で玉井中飛松木右飛後野原二盗岩瀨の二壘上を抜く單打に野原一壘還り球の本投される間に岩瀨二進したが圓城寺二飛▼滿電汐崎初球を三直飛小池ストレートの四球に出て杉谷の三飛で小池二進したが片岡二直飛

◇二回　取引武井遊飛上田投飛木原三飛▼滿電梅本遊飛小松右飛梅田二飛

◇三回　取引清水中飛後野原四球に出て玉井の三飛後バントに野原二進したが松木右飛▼滿電西田左線寄二壘打に出て佐賀遊飛汐崎の投飛に西田二三壘間に挾まれたが二壘に戻り二進せんとした汐崎二壘にアウトとなる小池二飛

◇四回　取引岩瀨投前バント後圓城寺右中間二壘打に出でたが武井左飛上田一飛▼滿電杉谷遊飛片岡四球に出でたが梅本の二飛に片岡二壘封殺梅本二盗後小松一二間を抜く單打に梅本還り同點となる梅田打者の時小松二盗に刺さる

◇五回　取引木原遊飛清水投直飛後野原四球に出でたが玉井一邪飛▼滿電梅田一二壘間を抜く單打に出て西田投前バントヒットに梅田二進佐賀三振崎汐遊飛に西田二壘に封殺汐崎二盗後小池左前單打に梅田汐崎還り球の本投される間に小池二進岩瀨これを刺さんとして二壘に惡投し、その間小池一壘還る杉谷四球に出て二盗後片岡續いて左越え本壘打して杉谷片岡續いて還り梅本二飛

◇六回　取引松木二飛岩瀨投邪飛圓城寺遊飛▼滿電小松投手頭上を抜いて出でたが梅田遊飛西田佐賀共に三振

◇七回　取引武井四球に出で直ちに二盗上田三飛に武井三進し木原の二飛に武井還る清水左飛▼滿電汐崎二飛小池三飛杉谷三振

◇八回　取引野原三飛玉井右飛松木二飛失に出て岩瀨左前單打に松木二進したが圓城寺三振▼滿電片岡投手足下を抜き梅本二飛小松の二飛に片岡二壘に封殺され梅田投飛

◇九回　取引（滿電杉谷左翼に梅本遊擊となる）武井捕邪飛上田三飛PH大代三振に空し、閉戰五時二分

（取引）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
6野原	2	1	1	0	1	0	2	5	4	0
4玉井	3	0	0	1	0	0	0	3	6	0
8松木	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1岩瀨	4	0	2	0	0	0	0	2	1	1
7圓城寺	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0
2武井	3	1	0	0	1	0	1	4	1	0
9上田	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5木原	2	0	0	0	0	0	0	1	3	0
PH（大代）	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
3清水	3	0	0	0	0	0	0	8	0	0
計	30	2	4	1	2	2	3	24	15	1

（滿電）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
8汐崎	4	1	0	0	1	0	0	2	0	0
5小池	3	1	1	0	0	0	1	0	5	0
67杉谷	3	1	0	0	1	1	1	1	2	0
2片岡	3	1	2	0	0	0	1	3	0	0
76梅本	4	1	0	0	1	0	0	2	0	0
1小松	4	0	2	0	0	0	0	2	2	0
3梅田	4	1	1	0	0	0	0	13	0	0
9西田	3	0	2	0	0	1	0	3	0	0
4佐賀	3	0	0	0	0	2	0	1	2	1
計	31	6	8	0	3	4	3	27	11	1

▲本壘打—片岡
▲二壘打—西田・圓城寺
▲試合時間—一時間四十八分

市の天長節奉祝

大連市主催の天長節奉祝式は青葉薫る大連神社境内において二十九日午前十一時半より開催小川市長、岡野助役、御影池民政署長、大内市會議長以下各市議、八田滿鐵副總裁、山西、山崎、十河各滿鐵理事、森本法院長、各警察署長、高田商議會頭、築島同副會頭、高柳中將、岩井少將、山内電々會社總裁、大竹關東軍倉庫大連支庫長、唐津大連要塞出張所長、河本兵站支部長等を首め會衆約二千吉野市總務課長の開會の辭ありて君ケ代合唱裡に國旗掲揚式を行ひ東天遥かに拜したるのち市長より奉祝の辭あり、天長節の歌を合唱し、市長發聲にて天皇陛下の萬歳を三唱し國旗降下を以て閉式したが極めて盛會であつた
なほ大連市役所では十時半より廳内祝賀會を催したが小川市長以下吏員、大内市會議長以下各市議、杉野前市長ほか市關係者約百五十名參列し市長奉祝の辭に次いで大内議長の發聲により天皇陛下萬歳を三唱し冷酒を酌んで聖壽の無窮を稱へ奉つた

傷病兵凱旋

去る二十八日着連大江町衛戍病院に休療中であつた北田少佐以下九十八名の白衣の勇士は三十日午前十時高市一等軍醫以下の戰友に守られてしあとる丸に乘船、一路母國への凱旋の途についたが埠頭には學生、團體、一般市民等多數の熱誠な見送りがあつた

上、滿電汐崎還る……五回裏……下右、優勝旗授與
同左、凱歌をあげる滿電チーム

旅順のお花見に 大車輪のお接待

花より團子に地元は大力み

既報本社主催にかゝる旅順大正公園觀櫻會に對して後援者たる大連、滿鐵々道事務所並びに旅順市役所では今から非常な意氣込みの下に種々一行の歡待の趣向をこらしてゐるが、先づ大連鐵道事務所では當日運轉の特別列車には特に新造の電氣熔接になるスマートな客車のみを往復共に提供し、乘客の乘心地に對する諸般の批判を乞ひサーヴイスに努むる一方、旅順市役所では歡迎の意を表して大正公園唯一の園遊會場と稱せらるゝ中央芝生を關東廳土木課の好意により特に提供される事を得て、同所の一隅には舞臺を設け大連山葉洋行寄贈の超大擴聲器による音樂の間斷なき放送の下に旅順美妓總出の手踊りその他東京音頭、大阪音頭櫻音頭並びに支那手品などの趣向を凝した餘興を午後一時から間斷なく行ひ、更に賣食として一般會員に配布提供するお辨當に對しては、旅順料理店組合員が腕によりをかけて調理に材料に奔命の努力を拂ふはずである
なほ旅順驛頭から大正公園間には滿電において特に車輛を增發して一般の便に供する事になり、本年の旅順觀櫻會は至れり盡せりの遺漏なきを期してゐる

白い眼で睨まれ 選手連ゲッソリ

門司で練習も出來ず

【門司特電三十日發】極東オリンピック出場選手百六十四名をのせた平洋丸は、神戸から今朝七時滿船飾を施して門司に入港、稅關三號岸壁に横づけた、折から雨が降つてゐたが間もなく晴れた、門司水上署では萬一を慮つて特定の人や新聞記者にマークを交付して之を胸に懸けた者の外は絶對に船にゆかせぬこととし、岸壁内外には多數の正、私服巡査を配置して警戒嚴重を極めてゐるので出迎人も少く至つて寂寞たるものであつた一行中野球、庭球、排、籠球、水泳等數種の選手は關門兩地に上陸して本邦最後の猛練習を行ふべく意氣込んで夫々準備をしてゐたが、九時愈々上陸するといふ間際に下關水上署から形勢不穩だから上陸を見合せられたしと急報があつたので一同ゲッソリとなり全部一歩も上陸せぬこととなつた
この日門司市は招魂祭と灌祭の賑ひで未明から中天には盛んに煙花が絶え間なく打ち上げられてゐる選手一行は自分等の歡迎煙花かと思つた程であるのに、陸上を眺めながら上陸が出來ぬことになつたので情けがへり甲板をぶらついてうらめしげに空の花火を眺めてゐる、格別歡迎に來るものもなく誠に寂しい
滿洲國には殊に深い關心を持つ門司市民多數の意見は大概は滿洲國選手を拒否したに對して幾ら大國の態度かは知られども支那やフイリッピン相手の競技に滿洲選手を捨てゝ單獨出場するとは餘りに同情がないのみか意氣地がない、日本男子は屁理窟よりも意氣を尊ぶべしだと憤慨選手の來門を白眼視して居るものが多いから危險であり且つ歡迎するものもないのだ

大會不參加選手

西田君等八名に上る

【大阪二十九日發國通】紛糾に紛糾を重ねた極東大會は西田修平選手不參加を始めとし續々脱退者を見、遂に二十八日には其の數左の八名の多きに上り何れも日本のナンバーワンの中堅闘士で大會の覇權維持に勘からず不安を抱かしむるに至つた
陸上佐々木吉藏、竹中正一郎、西田修平、南部忠平、高田静雄各選手、野球宮武三郎、拳闘水松英吉同じくマネージャー泉勘次郎

山本氏辭任か

【東京三十日發國通】二十九日の問題となつた極東大會派遣選手の行動不統一に關し學生聯盟の統制上その態度を決する事になつたが參加不參加で意見對立し結局何等決定を見るに至らなかつたので會議散會後早稻田大學競走部では十時半より競走部役員出席部會を開き遂に大會不參加を聲明した關係上關東學生聯盟を脱退するに決し山本部長の承認を得、同夜學生聯盟に屆出た、なほ學生聯盟會長山本博士も學聯會長辭任を決意し學聯に辭表を提出した

誤解は遺憾

嘉納會長の辯明

【ハルビン特電廿九日發至急報】失言問題で滿洲國體育協會の抗議電報を突付けられた嘉納治五郎氏は
余の述べたことが誤解されたのは遺憾だ余は滿洲國を獨立國と見なしてゐるのは勿論だが、外國との交渉に於ては今のところこちらの云ふ通りにはならぬ、この問題に付て種々紛爭があつたり暴行問題まで惹起したのは甚だ遺憾だ、滿洲國の參加については絶近努力せねばならぬがそれが爲に日本が脱退する如きは間違で日本が參加した上で今後滿洲國參加に努力すべきだと語り、二十九日朝發列車で歐洲に向つた

森本課長離連

關東廳警務課長の重職より新たに福岡縣地方課長に榮轉の森本勝巳氏は三十日出帆しあさる丸で離滿の途に就いた（寫眞は森本氏）
滿洲事變以來、大きな變化を見せた關東廳警務關係の重要な役割りを一人で背負つて立ち名課長の名をほしいまゝにしてその親分肌な手腕と理智的な仕事ぶりで滿洲國並びに軍部との間に立つて融和のよろしきを得せしめたもので今更惜別の情深いものがあるが、埠頭には石井監察官、森本法院長、池内檢察官、寺田大連、久下沼水上、廣石沙河口、大場小崗子、今井消防各署長を始め警部補以上の總出動流石に金筋燦然と警務課長を送る裾野

情死、仕損じて 留置場に冷い春

福岡縣二日市マオラン株式會社々長の實弟川邊巖（二四）は同市檢番藝妓だるま事合カウメ（一九）と深くなり二世を契る仲となつたが親戚の反對で晴れて夫婦になれぬところから心中の相談が纏まり、男は兄の金三百五十圓を引出し女を足抜きさせて去る二十五日門司出帆のうすりい丸に乘り込んだ、船の上から二人抱き合つて海中に身投げすべく二人は幾度も甲板の上を右往左往したが、その都度人目に邪魔されて決行することが出來ず、ぐづ／＼してゐるうちに船は二十七日大連へ入港した
二人は遂に身投げを仕損ねて決心も鈍り上陸後市内濱速町一丁目都旅館に投宿したが、門司を發つ時「死んでゆくのに金はいらぬ」と盗んだ金の大部分を料理屋の借金に支拂つてゐたので上陸早々から金に窮し、福岡の兄へ送金方を依頼したことから郷里では大騒ぎの揚句男の兄から大連署へ取押へ方を電報して來たので、同署吉岡、船與兩刑事は二十九日夜都旅館から男女を拘引し逃へに來るまで二人の身柄を留置することゝなつた
情死しそこれた駈落者が春さいふに冷たい留置場につながれて儘ならぬ浮世を怨んでゐる——

高血壓・腦に

新良藥力心を創製

頭重く耳鳴り視力衰へ不眠、心臟強く舌もつれ手足しびれるのは大抵高血壓で腦溢血や中風の危險が多い。これには蠅取粉で有名な今津佛國理學博士が稀の成分を皇漢藥より採取して創製せる活動素力心が一番である。良く血壓を下げ前記の症狀を治療し腦、胃腸及心臟を健全にす五百錠三圓五〇・千錠六圓五〇で大阪東淀川區三國町今津研究室より分讓。容態を記し申込めば養生法と共に藥を代金引換郵便にて送付す。

光瑞氏講話

若草山西本願寺内の光壽會では五月一日より三日間毎日午前十時より大谷光瑞師の金光明最勝王經講話法莚を設け會員の參聽を待つ由

老人も危險

足許から鳥が立つて天然痘防止で大童の海務局が自分乍らアッケにとられたと云ふ話、海務局海事課指定代書人森川吉大（五九）は廿八日發病し三十日天然痘と確定の上療病院へ收容されたが、檢疫課のドクター連は今更消毒に多忙を極めてゐるが、これによつて見ても如何に種痘が大切であるかを物語つてゐる
この代書の爺さん皆が種痘の際「わしは老人だし一杯やる必要もあるから種痘はせんでも大丈夫ですよ」と種痘を受けなかつたものだと

大連富士の 裾野火事

松五百本燒失

二十九日午後零時半頃突然大連富士裾野に起つた山火事は、星ケ浦方面の行樂に浮かれてゐる人々を驚かせたが、折柄の風にあふられて火足は枯草をなめて延びる一方附近通行中の實業野球團監督安藤忍氏の如きは附近に遊んでゐた小學生をかりあつめて大いに消火に努めたが一向鎭火せず、附近が要塞地帶であるだけに成行は非常に重大視されてゐた處漸く驅けつけた消防者員に小學生が應援、午後二時過ぎ二萬四千坪の芝地と三年生、四年生松五百本を燒失漸く鎭火した、原因損害目下調査中【寫眞は燃える裾野】

天氣予報

一日　北西の風晴一時曇
滿潮（午前一時一五分 午後一時三〇分）
干潮（午前四時三〇分 午後五時四五分）

各地溫度　三十日午前十一時
大連 十二　奉天 十五
旅順 七　新京 十五
營口 十五　新義州 十三

今日の小洋相場（十一時半）
金百圓につき百二十九圓八十錢

新講談

丹下左膳 (90)

林不忘作　小田富彌畫

いのち綱（七）

けれど、この壺である。こけ猿の茶壺を片手に、蒲生泰軒、考へ込んでゐると、それに眼をつけたチョビ安、頓狂聲を上げて、

「ヤア、あたいと父上が、一生懸命に守つて來た壺。こなひだ父が何處からか持つて來たのに、どうして此處にあるんだい」

「シッ！大きな聲を出すな。この壺は、それとは違ふ」

「イヤ、同じ壺だ。あたいにはちやんと見覺えがあらア」

「これ、この壺のことをかれこれ申すなら、左膳を助けに行つてはやらぬぞ」

「アラ、チョビ安さんだわ。チョビ安さんだわ」

聲を聞きつけたお美夜ちゃんが家から走り出て來て、

「安さん！あんた、まあ、よく歸つて來たわれえ」

「オウ、お美夜ちゃんか。會ひ度かつた、見たかつた」

なんかとチョビ安、一ぱしのことを言つて、お美夜ちゃんの手を取らうとすると、ハッと何事か思ひついた泰軒先生、

「コラ〳〵、チョビ安さやら、只今はそんなことを言うてゐる場合ではあるまい。生き埋めになつた丹下左膳を助け出しに……」

「オウ、さうだ！お美夜ちゃん！何れ、積る話はあとでゆつくり——小父ちゃん！さあ、行かう」

「待て！」と泰軒先生、お美夜ちゃんの傍に蹲踞み込んで、

「今夜はお美夜ちゃんたちも、一と役働いて貰はねばならぬ」

と、何事か、そつとその耳に囁けば、お美夜ちゃんは、可愛い顔を緊張させて、しきりに頷いてゐた。それから間もなくだつた。

二組の人影が、このさんがり長屋の路地口から左右に別れて、漆よりも濃い江戸の闇へ消え去つたのだが……。

その一つは、泰軒先生を促して一路穴埋めの現場へ急ぐチョビ安。

もう一つの小さな影は。

大きな風呂敷でこけ猿の茶壺をしつかと背負つたお美夜ちゃん、淋しい夜道に、身長ほどもある小田原提灯をブラ〳〵させて、一人さぼ〳〵歩きに歩いた末。

生れてから、こんなに遠く家を離れたことのないお美夜ちゃん。

しかも、夜中。

兩側の家は、ピッタリ大戸を下ろして、犬の遠吠えのみ眞つ暗な風に乘つて來る。作爺さんは足が利かないで、お役には立たず、朝まで待てない急な御用と聞かされて、怖いのも、淋しいのも忘れて、お美夜ちゃんは、背中にしよつたこけ猿が、疲れた小さな身體に、だん〳〵重みを增してくるのを覺えながら、幾つとなく辻々を曲り、町々を經て、やがて來かゝつたのは櫻田門の木戸。

番所を固めてゐる役人が、驚いて、

「コレ〳〵、小娘、貴樣、寢ぼけたのではあるまいな。そんな物を背負つて何處へ行くぞ！」

もう一人が、そばから笑つて、

「大方、引越しの手傳ひの夢でも見たのであらう」

「いゝえ！」とお美夜ちゃんは、こゝが大事なところと、可愛い聲を張り上げ

「あたしね、南のお奉行樣のお役宅へ行くんですの。さ、ほして下さいな」

紅蓮地獄

傑作の野村胡堂原作で好評を博してゐる錢形平次捕物控への一つで寛壽郎得意の映畫、原作はオール讀物所載で山本松男の監督、助演は浣紗子、孩子を始め森川八重子、頭山桂之助、峯日清の映樂館上映し…

●えいぐわとえんげい●

日活の實演隊 近く來滿か

中谷新社長の渡滿を機とし

滿洲出張所で計畫中

日活本社の中谷新社長は就任以來日本全國の日活系常設館の視察を行ひ、近く滿鮮方面にも來る豫定と傳へられてゐるが、濱田日活滿洲出張所長は本社中谷社長の來滿を機さして日活俳優の實演隊を渡滿せしむべく、目下計畫を進めてゐる、卽ち濱田滿洲出張所長は前任伊藤氏と交代以來全滿の日活系統を一層鞏固たらしむべく努めてゐたが、來月末頃中谷社長が渡滿するとの通知に接すると同時に更にこの際日活の滿洲における活躍を徹底せしむるため社長と共に女優を中心とした實演隊の渡滿を計畫し、右の旨を本社に進言する處あつた、濱田出張所長は十中八九までは實現するものと見てゐるが計畫が具體化されるとすれば五月下旬には實演隊が京都出發、初夏の滿洲に向ふことゝなる模樣である

天長節の夜の各館共に滿員

日活館、中央館は札止め

四月最終の日曜日——天長節の映畫街を打診して見る……やゝ西北の風は強かつたが、朝來の快晴に郊外への行樂日和であつたゝめ、晝間興行はもとより夜間興行も相當たゝられるのではないかと見られて當業者も少なからず氣にしてゐたが、事實は全然豫想を裏切り各館共に非常な好調、豫想外の成績をあげた、中で最もよかつたのは日活館と中央館で、日活館は千惠藏の「風流活人劍」とカリン・ハルトの「ボートの八人娘」で僚紙大連新聞後援、料金割引きの階下四十錢、階上六十錢、中央館は阪東好太郎最初の現代劇、流行小唄映畫「さくら音頭」と「春姿だんだら染め」で料金は階下五十錢階上七十錢であつたが、何れも大入滿員で札止めの盛況、館內の收容人員が同じ位で何れを一、二とも定め難い位のいゝ勝負であつた、次が阪妻の「野狐三次」と鈴木澄子の「艷麗錄」を組んでゐる常盤座で入場者約八百人、次が映樂館のクーパー主演の「今日限りの命」で入場者約六百人、大體以上の如き成績で、四月最終の日曜日としては非常な好成績であつた

ユ社映畫紹介

大空の闘士

オール・トーキー

映樂館上映

ユニバーサル社特作全發聲の空中映畫、ジョン・フォード監督、ラルフ・ベラミイ、パット・オブライエン、グロリヤ・スチユアート嬢等が主演してゐる

砂漠の中に小さなエア・ポートがある、ここに詰めてゐる若い四人の飛行士は夜であらうが、嵐であらうが、一日に一回は必ず郵便物を積んで飛行せねばならない、一番腕達者なデュークは仲間のテジーの浮氣な妻アイリンと邪な戀に陷つてゐたが、クリスマス・メイルを積んだテジーが高壓線にふれて慘死する……マイクは手をさゝつて…に逃れる

吹雪の夜殘された二人の飛行士の內の上席マイク・ミラーは年に一度のクリスマス・メイルを何うしても空輸すべく吹雪をついてロッキー山を超えやうとし物語りは複雜となつて來る

我々は幾度となく飛行映畫を見られたが、それがどんなに冒險慄篇であると云はれても、本當に冒險であると感じられたことは殆どない、然しこの「大空の闘士」だけは明かにトリックでない本當の高等飛行を見せ觀客のドギモを拔く、ことに最初の一、二卷は物凄い迫力を持つてゐる、後半は空中飛行を見せるよりも劇が主となつてゐるが、クリスマス・メールをつんだマイク、ミラーの飛行機が吹雪をついて飛び出し、ロッキー山で遭難、全米の飛行機がラヂオによつて救出に出動するあたり相當面白くスピードもあるが、デュークが片翼された飛行機でマイクを救出してくる所は一寸まずい、この僅かな缺點さへなかつたなれば「大空の闘士」は空中映畫の最高峰となつたであらう—S—（映樂館上映）

うわさ話

松竹レビューの來連は大連の映畫街に相當以上の打擊を與へることは當然で▲中でも一番弱つてゐるのが映樂館、五月下旬までには小歌の市丸を招聘することに話が決定してゐたが、松竹レビューと衝突する程馬鹿げた眞似もできず▲結局レビュー颱風を避けて市丸の來連は延期、六月アカシヤの花が香るころ來連することにならう▲來週「さくら音頭」を上映する日活館では三田尻嬢妓を動員して舞臺で「さくら音頭」を踊らせる計畫、目下猛練習中であるが、唄は大連會館の丸山夢路、藤田エン子嬢▲中央館の五月第一週プロ瀧田の「夢見る頃」と下加茂の「冬木心中」は何れも內地東西兩都市で…週以上續映された傑作映畫…

當籤發表

去る三月廿六日本社が大連市內で代表的信用ある著名會社及商店の紹介と共に新春の慰みとして懸賞を募りました處內地は勿論遠く海外よりの應募もあつて正解者實に二萬七千五十三通の多數に上りましたが本社にて嚴正抽籤の結果左の諸氏が當籤されました

四月三十日

滿洲日報社

一等 萬古(デスクスタンド二本立)萬年筆　一名

大連市伊勢町三一　原田壽雄

二等 萬古萬年筆ペンシル組合(一組宛)　五名

大連市櫻町七八　勝俣文子
大連市西公園町大塚ビル　草刈秀臣
營口旭街　中島彌市
福岡縣鞍手郡山口村淺ヶ谷鳴水　荒牧繁
新京日本領事館內二四　樋渡儀三

三等 萬古萬年筆(一本宛)　一〇名

大連市若狹町四五　廣瀨春美
大連市敷島町六八　加藤和子
大連市沙河口大正通　大谷三男
大連市濱速町野崎內　大野恒吉
撫順彌生町六丁目一ノ九　池田利子
旅順市名古屋町一七　柏木俊也
奉天柳町五番地　山口勝
新京普通學校內　安乘壽
東京市牛込區市ヶ谷長延寺町四　石黑壽星
山梨縣南都留郡福地村六四二番地　渡邊澄子

懸賞當籤者發表

優勝は何校？

去日本紙掲載の第十一回全國選拔中等學校野球大會懸賞廣告應募の正解者中より抽籤の結果左記の諸氏當籤され賞品を贈呈致しました

一等　名古屋市東區新出來町三ノ二五　伊藤一雄殿
一等　富山縣婦負郡杉原村西神通　川口伊三次郎方　池野三郎殿
一等　京都市上京區相國寺北門前上ノ町　堀三男方　山本義雄殿
三等　鹿兒島縣日置郡市來町湊町　野平光夫殿
三等　熊本縣上益城郡濱町下市　西山守之殿
三等　北海道北見國丸瀨布　河合宮子殿
三等　松江市白潟本町七二　角南吉右衛門殿
三等　台北市元園町一七八番地　林援銀殿

大阪市東區高麗橋五丁目　廣告代理業　株式會社萬年社